

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立加納高等学校運営協議会（ゆめ会議かろう）（第1回）
- 2 開催日時 令和3年6月1日（火） 13:30～15:15
- 3 開催場所 岐阜県立加納高等学校 校長室
- 4 参加者
会長 尾関 孝彦 元県立高等学校校長 同窓会参与（普通科10回生）
中山道加納宿保存会会長
副会長 佐藤 昌宏 元岐阜大学教育学部美術教育教授（美術科8回生）
委員 大島 令子 PTA副会長
中村 規子 特別養護老人ホーム ナーシングケア加納 施設長
日比野浩之 加納西自治会連合会副会長
水野 律子 加納まちづくり会会長
学校側 高田 広彦 校長
大前 幸弘 事務部長
松野 晶信 教頭
大平 隆司 教頭
山田 茂雄 教務部長
篠田 和明 総務部長
大野 超子 総務部担当

5 会議の概要（協議事項）

(1) 「運営機構、学校経営計画、教育課程」について

全委員より学校運営計画について承認された
質疑等

委員：単位制は1単位何時間なのか。

⇒ 50分間、35週で1単位である。

委員：単位制の学校が増えてきている。単位制は科目選択の幅が増えるので、生徒の個性を伸ばせると思う。

委員：単位制では生徒が履修する授業を自由に選べるのか。

⇒ 必修科目以外は自由に選べる。半期の履修科目も準備している。ただし、授業の空き時間はない。

委員：学校独自の科目の場合、教科書はあるのか。

⇒ 学校でテキストを作成するなど工夫して授業を行う。

(2) 「地域とともにある加納高校をめざして」について

委員：地域行事のポスターなどの作成依頼をしてもよいか

⇒ 相談があれば美術科で検討する。

委員：まちづくりを考える中で、若い感性を受け止めることが大切だと思う。

委員：コロナのため中山道加納宿まちづくり交流センターなど地域の施設の利用がとても難しくなっている。利用が可能になれば、加納高校の生徒のみなさんにも協力をお願いしたい。

⇒ できる限り協力して、地域との結びつきを強くしていきたい。

(3) 「校則の見直し」について

委員：成人年齢の引き下げにより、注意しなければならないことが多くなってくると思う。

⇒ 携帯電話など様々な契約ができる。注意点などは家庭科などでも教えている。

委員：制服の着こなしは清楚になっていると思う。

(4) その他

委員：ホワイトボードやタブレットの活用など、自分たちの頃とは隔世の感がある。

委員：美術科は、油絵が表現重視になっていてどう評価するのが難しいと思う。また、進学先が重要になるが、予備校との連携のさじ加減が難しい。

⇒ 本校職員が予備校を回って連携をとっている。

委員：教室に40人を超える生徒がいるが、この時代少し密ではないか、鼻までマスクをしていない子もいた。大事な時期なので先生からも注意をお願いしたい。

⇒ 日頃から注意をしているが、さらに徹底していきたい。

委員：学校ではできる限り感染対策をお願いしたい。

委員：教室が手狭である。大きな鞆を机の横にかけているが、非常時など危険なので、ロッカールームなどがあるとよい。

⇒ 少しでも改善できるよう検討していきたい。

委員：生徒がのびのびしていた。普通科と音楽科、美術科があることで生徒によい影響があるのではないか。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。

本日得られた貴重な意見・助言は、職員会議等で全職員に伝え、今後の本校の教育に生かしていきたい。